



学校・家庭・地域が連携した食育の推進

～家庭・地域と連携した、果物・野菜を通して～

柳井市立大島中学校 愛育会

1 学校地域の概要

所在地 〒749-0101 山口県柳井市神代 4273

TEL 0820-45-2202

FAX 0820-45-2274

愛育会会長 古川 裕之

学校長 坂田 邦夫

生徒数 29名 (26家庭)

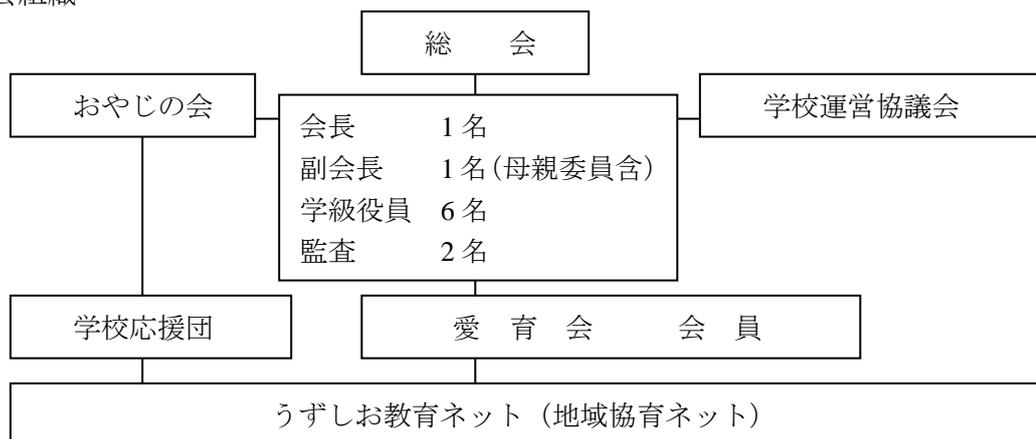
会員数 41名 (保護者29名 教職員12名)



大島は大島瀬戸に面し、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた風光明媚な場所である。平成17年2月21日に柳井市と旧大島町が合併し、柳井市大島となり現在に至っている。大島は古くから周防大島への玄関口であり、交通の要衝として栄え、明治維新の志士に大きな影響を与えた僧 月性の誕生地としても有名である。

大島中学校は、瀬戸内海や大島大橋が見渡せる高台にある、全校生徒29名の小規模校で、他地区の例に漏れず大島地区も少子高齢化が進み、ここ近年は各学年10名前後で推移している。保護者や地域の方は学校に大変協力的で、地域教育ネット「うずしお学園」のもと、大島小・中学校が9年間を見通した教育を行っている。

2 愛育会組織



3 研究テーマ

本校は『広い世界に目を向け、自己の殻を破る生徒の育成』を学校教育目標に、地域とともにある学校づくりを推進し、保護者や地域の方の協力を得ながら、生徒の自己肯定感を高める教育活動を行っている。愛育会活動では、『行きたい学校・帰りたい家庭をめざして～創り上げていくPTA活動～』のスローガンのもと、草刈り活動などの環境整備や生活習慣を整えるための「ノーメディアデー」の実施、また食への関心を高めるための生

徒が作る「お弁当の日」を家庭と連携して取り組んでいる。また、本校の立志式での「剣舞」や、立志式後の保護者と地域の方の協力のもと行われる「お餅つきと豚汁を囲んでの会食」は、本校のみならず地域の伝統行事となっている。

そこで、今年度も引き続き学校の畑でさつまいもやたまねぎの栽培やさつまいもを使った「スイートポテト」づくり、野菜・果物づくり（小玉スイカ・いちご・杏）など、食育につながる活動の充実を図る。具体的には、地域の方を指導者として迎え、生徒と保護者でさつまいも等の果物や野菜を植え、さつまいもや果物は収穫、調理、試食をする。そうすることで、学校・家庭・地域が連携して食育を推進し、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけていきたい。また、たまねぎは、保護者と生徒で植え付けをし、収穫後保護者との懇親会（バーベキュー）等で交流を兼ねて食する機会を設ける。さらに、小玉スイカは、種から苗を育て、収穫後は生徒が食したり、家庭に持ち帰るようにする。そして、今年度は地域のいちご作り名人を講師に招き、いちごの栽培、収穫を行う。これらのことを通して、食育の推進をさらに図りたい。

4 活動内容

(1) 「おおばたけのはたけ」での栽培

① さつまいもの栽培とスイーツづくり

植え付け

5月23日・24日の2日に分けて、地域の方を指導者に迎え苗植えを行った。今年度は、残念ながら保護者の参加はなかったが、生徒・教職員・地域の方で植え付けを行った。終始和やかな雰囲気で作業は進んだ。

収穫

10月20日に、さつまいもを収穫した。当初は保護者と新1年生と一緒にやる予定であったが、コロナ禍のため、生徒と教職員で収穫をした。収穫の仕方については、植え付けと同様地域の方から指導を受けた。灌水や除草など、管理をしてきたおかげで、昨年度並の収穫量があり、収穫のたびにあちこちでその大きさに歓声があがった。今年度、小6児童が収穫に参加できなかったため、次年度は参加し、収穫の喜びが味わえるようにしたい。



スイーツづくり

収穫したさつまいもを使って文化祭前日の10月29日（土）に、保護者・生徒・小学生とその保護者・教職員42名でスイートポテトづくりを行った。昨年度と同様に、材料の余り（卵白）を使ったさつまいも



ケーキも併せて作った。班編制も交流が図れるように、保護者・生徒・小学生とその保護者も含めた7～8人の班を編制した。保護者が中学生に、中学生が小学生に教える場面が随所に見られた。保護者同士も、お互いに声を掛け合って調理をするなど、和気あいあいとした雰囲気が見られた。

調理後は、一昨年度整備した図書室「うずしおビューラウンジ」で試食をした。自分たちで育てたさつまいもを自分たちで調理をして試食をした生徒たちは、満足そうだった。また、試食時には、保護者もが集まって、ケーキづくりをはじめ、子育ての話をする姿も見られるなど、保護者同士の交流もみられた。最後に、できたスイートポテトを配付するためにラッピングをし、希望者には、収穫したさつまいもを持ち帰ってもらった。参加した全員が、笑顔でスイートポテトづくりやケーキづくりができ、充実した時間を過ごすことができた。



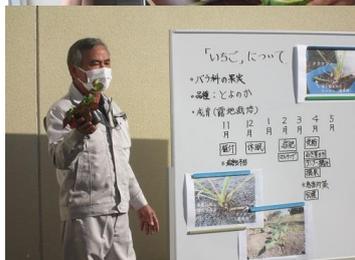
②たまねぎづくり

4月19日（水）昨年の秋に植えたたまねぎの収穫を行った。今年度は生育状態がよく、かなりの収穫量があった。しかしながら、1学期に行う予定にしていた地域住民と保護者との懇親会（バーベキュー）は、今年度もコロナウイルス感染症対策のため中止となった。来年度は、アフターコロナを期待し、是非実施をしたいと考えている。



③小玉スイカ・いちごづくり

昨年度は、ミニトマトと小玉スイカづくりを行ったが、今年度は昨年生徒達から好評だった小玉スイカと地域におられるいちご作り名人（約9000もの株から甘みたっぷりの「とよのか」を栽培・販売されている）を講師として招きいちごを栽培することにした。小玉スイカは、種まきをしたが、例年がない気温の低さのため苗が育たず、苗を買って植えた。昨年度は、地域の方に木や竹で柵を組んでもらい育てたが、今年度は幅の広い畑で育てることにした。地域の方には、休日に灌水をするなど、側面的な支援をしていただいた。収穫した小玉スイカを環境整備後に保護者とともに食して、収穫の喜びを味わう予定であったが、コロナ感染症対策のため、自宅に持ち帰って食べてもらうことにした。来年度は、親子で会食ができることを楽しみにしている。いちご作りは11月14日（火）地域のいちご作り名人に来校して、いちごの苗の植え付け方を教えていただいた。その後生徒全員で植え付けをした。クラウンと呼ばれる茎の根元の向きを気をつけて植えることや日光により多く当たるように、地面に勾配をつけるなど、専門的なアドバイスをいただきながら楽しくできた。寒波の襲来に備えてビニールで畑を覆うなど、手入れをしながら春の収穫を楽しみにしている。



④杏を使つての調理実習

本校には杏の木があり、今年度は成り年で多くの杏の実が収穫できた。そこで、地元生活改善グループの方々到手ほどきを受け、3年生の家庭科の授業で、杏の甘酢煮の調理実習を行った。杏は、生徒達にとってはなじみのない果物で、酸味の多い果実であることに実習を通して気付いたようだった。また、参加された生活改善グループの方が、杏仁豆腐（杏の種のさやを使つて）を作つてくださり、ほんのり酸っぱい甘酢煮と甘い杏仁豆腐に舌鼓をうった楽しいひとときだった。



(2) その他

本校では、学期に1回の年間3回、「お弁当の日」を設け、毎回テーマを設定し、生徒が作るお弁当づくりを通して食育を推進している。テーマは、1学期は1品以上作る、2学期はおかずを全部作る、3学期は買い出しから自分ひとりで作るに設定している。生徒の作ったお弁当は、毎回全員で見せ合いを行い、その後写真を校内に掲示するとともに「食育だより」で紹介している。2学期には、食育の啓発を目的に、「はなちゃんのみそ汁」の作者の安武信吾さんの講演会を行った。生徒の感想の中には、食事の大切さや食事を作ることへの意欲、感謝の気持ちなどがみられた。



また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2学期の文化祭での会食、立志式後の「お餅つきと豚汁を囲んでの会食」は今年度も実施できなかつた。しかしながら、来年度はアフターコロナで、今までできなかつた行事や取組が実施できることを期待している。

5 成果と課題

(1) 成果

学校経営方針に、家庭と連携した健康づくりの中に食育の推進を位置づけている。新型コロナウイルス感染症対策のため、生徒と保護者が共に畑で植え付けや収穫をして汗を流したり、文化祭や立志式などのバザーで地域の方の温かい支援を肌で感じる機会には恵まなかつたが、地域の方の支援のもと収穫する喜びを味わったり、食すまでの過程にかかわった方々の感謝を感じるなど、体験を通じてしか味わえないことを学ぶことができた。また、スイートポテトづくりは、本校に欠かせない地域ぐるみの行事に定着しており、保護者が学校へ足を運ぶ機会や、保護者同士の交流の場の一つになっている。このような活動を通して、保護者と生徒と一緒に活動でき、食育への関心がさらに高まったと感じている、

(2) 課題

今後は、食育への取組を、いかに持続可能な取組としていくかが課題である。参観日や行事を工夫しながら、保護者が参加しやすい体制の構築を進めていきたい。また、保護者に地域連携の重要性をさらに理解していただき、より地域の方と連携を密にしていきたいと考えている。

【資料】食育だより

食育だより

令和4年 12月2日
福井市立大森中学校
食育担当

11月21日は2回目の「自分で作るお弁当の日」でした。お弁当作りでみなさんそれぞれの成長した部分が十分に発揮されているのではないのでしょうか。みなさんの頑張りと思いが詰まったお弁当をテーマと共に紹介します。

～ 彩豊かな弁当 ～

～ チャプスイ ～

～ 本気のキャラ弁 ～

～ すきなべんとう ～

～ オムライス弁当 ～

～ おにぎりべんとう ～

～ こめお特性チャーハン ～

～ オムベン ～

～ 色とりどり弁当 ～

～ 真っ白お弁当 ～

～ bento ～

～ 「和」な弁当 ～

～ ガバオライス弁当 ～

～ かんたん弁当 ～

～ おにぎり弁当 ～

～ ハンバーガー弁当 ～

～ 普通のべんとう ～

～ オムライス弁当 ～

～ いつも通りのお弁当 ～

～ 未確認生物弁当 ～

～ サムギョップサル弁当 ～

～ サンドウィッチ弁当 ～

～ しょうが焼き弁当 ～

～ おにぎり弁当 ～

～ 先生方のお弁当 ～

弁当の日を振り返って ～アンケート結果～

- 全部自分がした
- ほとんど自分がした
- 少しは自分がした
- 自分がほとんど出来なかった

1学期 5月実施時

5 今回、調理は誰がしましたか
28名の回答

2学期 11月実施時

5 調理は誰がしましたか
24名の回答

およそ半分の生徒が全組1人で家族でできるように なっています！

6 今回、お弁当箱につめるのは、誰がしましたか
25名の回答

6 お弁当箱につめるのは、誰がしましたか
24名の回答

およそ7割の生徒が1人でつめることができるようになっています！

保護者の皆さまへ

今年度第2回目となるお弁当の日へのご協力ありがとうございました。実施後のアンケートで前回と変わったところについて、「今回は家族を頼らず1人で全部できた」「母丁の使い方に慣れてきた」「焦らすにできた」といった感想が寄せられました。弁当の日を重んじて、生徒自身も成長を感じているのではないのでしょうか。一方で「今回こそは自分で作りたいです」と意欲た生徒もいました。弁当の日においては、実際に手伝っていただく面と見守っていただく面でのご協力をよろしくお願いたします！

次回のお弁当の日、2月13日(月)です。

- 5 -

スイーツポテト作り案内

令和4年(2022年) 9月29日

保護者 様

柳井市立大島中学校
校 長 坂田 邦夫
愛育会長 古川 裕之

「あつまれ！おおばたけちゅうでSPづくり」のご案内

爽秋の候、保護者の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素から、本校教育の推進につきましてはご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、5月に植え付けしたサツマイモも、夏場の水やりやツル返し（中元さんにしていただきました）等の手入れを行い、無事に収穫を迎えられそうです。

そこで、恒例のスイーツポテト作りを行いたいと思います。小学校5・6年生にも参加を呼びかけていますので、小中連携、保護者同士の繋がりを深めるためにもご都合のつく方はご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、作成したスイーツポテトは文化祭当日に生徒に配付します。

記

- 1 期 日 10月29日（土）
① 13:00～15:30 ② 15:30～16:30
- 2 ところ 大島中学校調理室・図書室
- 3 内 容 ①スイーツポテト作り
②ラッピング・試食会（大中カフェ）
- 4 もちもの 飲み物・タオル
- 5 服 装 エプロン、マスク等
- 6 提出期限 10月12日（水）までに教頭へ提出ください



生徒のみ・保護者のみの参加もOKです

.....切り取り線.....

↓ご参加いただける欄に○を記入してください

参加申込書				
		フル参加	①のみ	②のみ
1 生徒氏名				
2 家族氏名				